



2月節分行事から

バプテスト心身障害児(者)を守る会
愛の手を

第203号

発行責任者
社会福祉法人 バプテスト心身
障害児(者)を守る会
重症心身障害施設 久山療育園
重症児者医療療育センター
理事長 宮崎 信義
編集責任者 中村 晴光
福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869
☎(092)976-2281
FAX (092)976-2172

「新年度にあたって」

センター長 岩 永知秋

新年度を迎えるにあたりご挨拶申し上げます。思えば昨年度は新型コロナウイルス感染症に振り回された1年でした。3

密の回避のため、人と会い、人と語るといふ、当たり前の機会が激減しました。年が明けて1月になると事態はさらに悪化し、緊急事態宣言が11都府県に再発令されるなど、例年の正月気分はほとんど感じられませんでした。1月は昔の言い方で睦月(むつき)といえます。肉親、親せきや友人、知人と互いに往復し、親しみむつみあう月、の意味だそうです。親しむつみあう月、の意味だそうですが、全くそれに反する本当に皮肉なめぐりあわせだったように思います。

グローバル化は、国境を越えた人と物の往来を可能にするなど多くの恩恵をもたらしましたが、一方で多くの負の側面をもたらしました。格差の拡大(富める者はさらに富み、持たざる者はさらに貧困に窮する)や分断もその一つです。分断といえは、トライバリズムという言葉があります。トライバリズムは種族の意味です。トライバリズムとは人種、民族、宗教、ジェンダー、教育、所得、世代、地域などの差異によって、各自が自らの集団の中に閉じこもることです。〇〇ファーストなど、自分さえよければよしとする自己中心主義、排外主義は、多くの分断を生みました。その中で、相手の立場や考え

を理解し、互いに多様性を認めようとする「寛容の精神」がどんどん失われていくのが悲しい現実です。

感染症の拡大もグローバル化と無関係ではありません。地球上のある地域で起きた新型コロナウイルス感染症が航空機による人の移動に伴い、あっという間に地球全体に広がります。ウイルスの毒力がSARSやMERSのように強いコロナウイルスであれば、宿主である人の死を招くことにより自分の生きる場所を失い、一定程度で拡大は止まります。しかし今回のCOVID-19はSARSなどに比べて致死率は低く(とはいってもインフルエンザウイルスよりはるかに死亡率は高い)感染力は大きいため、感染症が全世界を席巻するに至りました。

感染症の人類への挑戦であり、人間側からすれば人類の生存と文化に対する試練です。今年にはいつからコロナワクチンの接種が始まりましたが、RNAワクチンなど全く新しいワクチンが驚くべき速度で開発、承認されました。わが国でも遅ればせながら2月末から医療従事者を皮切りに接種が開始されました。ワクチンはいくまで治療手段ではなく、感染ならびに発症の予防手段ですが、人がコロナウイルスに対して今初めて手にした有力な武器となりそうです。

人類にあまねくワクチンの恩恵が波及する必要があるとありますが、課題もあります。日本を含む180か国あまりが資金を出し合い、COVAXというしくみで開発途上国へのワクチン供給がガバナを嚆矢として始まりましたが、まだ全く供給量が足りていません。

(次ページへ続く)

先進国各国には、地球規模でワクチンによる感染予防を考えていかなければならない義務があると思います。

久山療育園でも、これまで月に少なくとも2回は新型コロナウイルス感染症に関する対策委員会を開催し、そのつど迅速、適切に対策を打ってきました。保護者の皆様には流行状況に応じて面会制限などご不自由をかけたし、今後とも迷惑をおかけするところがあると思いますが、お子様方を守るための対応であることをご理解いただき、どうぞご容赦くださるようお願い申し上げます。当園でも国の指針通り、医療従事者、高齢者、そして利用者の順でコロナワクチンの接種が予定されています。「夜が明ける前が最も暗い」といいます。またはるか2000年以上前にギリシアの哲学者アリストテレスは「最も暗い時期にいるときこそ、私たちは光を見出すために集中しなければなりません」という言葉を残しています。ワクチンの効果が表れるのにはしばらくの間がかかると思いますが、その間これまで同様、私たちは協力して出来る限りの感染予防対策を継続して参ります。

理念と展望

2021年度 法人・施設運営の骨子と方向性

理事長 宮崎信義

はじめに

2021年度が始められ、愛の手を4月号で久山療育園重症児者医療療育センターの法人・施設運営と方向性をご紹介いたします。何と云っても昨年度からの新型コロナウイルス感染症の危機の中で、「重症心身障害児(者)と共に生きる」役割を果たすことの主要な目標が感染防止から生命の安全にシフトし、その結果、ご家族の面会や短期入所や通所・外来という在宅支援事業に多大な制約を受けました。昨年度は30回近く(わたって感染対策委員会(定例及び臨時)で協議し、具体的な対策を講じて参りました。更に行政や地域の方々とも協力して、2月・3月の2回にわたる職員PCR検査や4月から始まる予定の新型コロナウイルスワクチンの接種を実施しています。

パンデミック(世界的流行)を終息させるためには、自分たちの身を守るだけではなく、地域から世界的規模での協力が肝要です。経済格差による対策の偏りではなく、世界中の人々が免疫を獲得すること出来ることを祈っています。更に私どもの事業と深く関わる、日本重症心身障害施設協議会や福岡県重症心身障害施設協議会、各種の学会や研究会も中止され、重症児(者)と共にある事業の現状把握や方向性も国や地方自治体の施策の動向に注視しながら願いつつ進めていきたいと考えています。医療(健康保持)や生活の豊かさにもっと意識を傾けたいと思いつつ、感染対策を優先せざるを得ない状況です。面会が制限されている保護者の皆様や活動停止状態であるボランティアの皆様のお気持ちを受け止めながら、前に進んで参りたいと思います。

医療福祉計画の策定、開園祭テーマは「重症児(者)と共に集う人々の健康と生活の質の向上」と致しました。事業計画の骨子について、以下のように提言させて頂きます。新型コロナウイルス感染症の危機の中で、不条理か試練か、それでも尚、対峙していく。昨年11月以来の第三波は、1月をピークとして漸減していますが、まだ油断はなりません。2月から開始された新型コロナウイルス(SARS-COV2)ワクチンの有効性は95%とされていますが、全ての年齢層・市民に実施されるのは4/6月まで待たねばならないでしょう。私どもは、支援している重症心身障害児(者)や職員だけでなく、可能な限りの地域的役割を担いたいと思っております。

「社会福祉法一部改正」(2016年度施行)に対する整合性
1. 施設運営のガバナンス(統治性)の確立・強化と地域連携。優遇税制を受けている公益法人の資格審査にガバナンス(統治性)と組織の明確化が行政からも求められています。
①厚生労働省から通達があった「主たる事業所」の土地取得に地域の地権者のご理解を願います。②「在宅支援プロジェクト」の充実と、以降の将来計画。第1段階は2009年度〜2015年度(施設全面改築から在宅支援センターの開設)に終了し、第2段階は2016年度〜2020年度(在宅支援センターの拡充と新たな事業展開)検証ですが、「主たる事業所」の土地取得が達成されていません。これからの第3段階・2021年度〜2025年度では、地域福祉・在宅支援、更には「重症児者の家族と共なるコミュニティ形成計画」も保護者の高齢化が進んでいますので考慮したいと考えています。幸い、当センターでは、これまでのご奉仕や献金で可能となった「社会福祉充実残額」の活用で、更に周辺の活動拠点を求めて参りたいと思います。具体的には、①重症心身障害児(者)支援の安定化につながる経営の安定化。②経営努力と支援者献金

の蓄積の結果である「社会福祉充実残額」の活用。③久山療育園重症児者医療療育センターを核とした福祉計画・在宅の入所・入居及び短期入所待機中の重症児(者)の高齢化によるニーズの拡大。④中長期的将来計画として「重症者ホーム」に続く「要介護家族ホーム」計画。⑤更に「重症児者の家族と共なるコミュニティ」「福利厚生」「地域福祉」の基盤となる隣接し近隣の土地取得。⑥重症心身障害児(者)のニーズに応える事業編成・病床数・契約入所定員・短期入所定員の検討。

2.【事業運営の透明性の向上】…収支バランスを視点に入れた経営分析及び原価意識の定着。会計の明確化と外部監査。運営上の課題と持続可能性。①「在宅支援センター」(グループホーム「重症者ホームひさやま」)の運営(年間約3,000万円の赤字補填(公益法人の社会還元)と全国の支援者の献金に支えられている)。

②現状に合致した収支計画の策定・重症心身障害施設における人件費率は75〜77%が妥当と考えられる。③新型コロナウイルス感染症対策費。④新型コロナウイルス感染症のパンデミックに伴う事業収入

減への対応。

3.【地域における公益的な取組を実施する責務】「行政の関与の在り方」↓行政との連携。

4. 支援金の更なる活用 ※ 実態は40年間の支援者の献金が主体である。①重症心身障害児(者)の生命の尊厳と人権(生活の質の保持・所得補償)に対する支援(共助)。②社会福祉事業への再投下…在宅支援センターの充実と地域ニーズへの対応。高齢化する重症心身障害者及び家族の支援。

おわりに

例年の年度初めの事業計画を見返しつつも、コロナ禍という中で、抽象的な計画とならざるを得ませんでした。4月20日の発行日には、感染の蔓延が少しでも沈静化し、願わくば終息の見通しが立っていることを祈り願いつつ、筆をおきます。

病気のからだから人の第7回

肺炎あれこれ

センター長/理事 岩 永 知 秋



■今どきの肺炎：高齢者の肺炎
 今回は肺炎の話ですが、新型コロナウイルス感染症(肺炎を含む)とは少し離れた形でお話を進めます。医学教育の基礎を築いた医学者ウィリアム・オスラー(米国、ジョンズ・ホプキンス病院)博士は1898年、「肺炎は老人の友」(Pneumonia is a friend of elders.)と言われたそうです。この言葉はそれから100年以上たった現代に、より一層当てはまる言葉となりました。少子高齢化人口減少時代を反映して、高齢者肺炎が増加してい

るからです。そして肺炎は日本人の重要な死因でもあります。2018年の死亡統計では、第1位は悪性新生物(腫瘍)27.4%、第2位心疾患15.3%、第3位老衰8.0%、4位脳血管疾患7.9%、5位肺炎6.9%でした。

しかし第7位の誤嚥性肺炎2.8%を肺炎と一緒にすると、肺炎が死因の中で9.7%となります。第3位を占めることになり、現代は少子高齢化の時代であり、高齢者の人口が年々増えてきているため、高齢者の肺炎・誤嚥性肺炎が大きな問題となってきました。

なぜ「老人の敵」ではなく「老人の友」なのでしょう?あまり友達にはなりたくないものですが、うまく付き合って治しなさい、ということでしょうか。

注)誤嚥とは…食べ物や飲み物が口から入った後、食道や胃に入っていないかずに、誤って気管や気管支に入ること。

■肺炎にもいろいろある…炎症が起こる場所の違い
 肺炎は、両方の肺で合わせて約3億個の肺胞、という小さな部屋からできています。肺炎の多くは細菌感染によっておこる肺の炎症ですが、その炎症の場所はこの小さな部屋それぞれの空間に起こってくるものです。健康な肺は無菌状態なのですが、細菌がこの部屋に侵入すると、ヒトのからだではこれに対して炎症という現象が起こります。白血球が細菌に対抗して集まり、血管からしみ出てきた水分や種々のたんぱく質が多く部屋の空間を埋めていきます。これが感染症によっておこる典型的な肺炎のパターンです。肺の多くの部屋(肺胞)がこれで、いわば水浸しになります。そのため重症の肺炎では、肺胞に來るべき酸素が少なくなってしまう、身体に酸素を取り込むことができず低酸素となってしまう。しかし多くの肺炎は適切な治療、細菌性肺炎では抗菌薬により、あまり跡形を残さず治ります。部屋をうずめていた炎症性の細胞や液体が消失するためです。

これに対して、間質性肺炎という別のタイプの肺炎も最

近問題になっています。

これは炎症が起こる場所が異なるのです。蜂の巣を思い浮かべてください。蜂の巣もたくさん部屋が集まっているので、肺の肺胞にたとえることができます。間質性肺炎は部屋の空間ではなく、蜂の巣の部屋の仕切り(壁)に炎症が起こるので、健康な肺ではこの仕切りはとても薄く、喚気により気管支を通して肺胞の部屋に入ってきた酸素は、しみ込むようにしてこの部屋の仕切りの中を走る血管に入り、その後血液循環によって全身に配られます。ところが、炎症が起こった仕切りは炎症を起す結果、むくんだり、線維成分が増えて分厚くなりま

す。この血管が埋め込まれた仕切りが分厚くなると、酸素が血管にしみ込みにくくなります。ひどい場合はこれによりからだに配られる酸素が欠乏して、からだ全体が低酸素になってしまいます。間質性肺炎の原因はリウマチなどの膠原病、薬剤、放射線治療後など一部わかっているものもありますが、多くは原因が特定されていません。これらは慢性肺炎の経過を取ることが多いのですが、ウイルスがまれに引き起こす肺炎(今回の新

型コロナウイルスもそうですが)は、急性の間質性肺炎を起すことがあります。

■誤嚥による肺炎・誤嚥性肺炎とは

誤嚥性肺炎は、誤嚥により細菌によって引き起こされる肺炎をさします。私たちは食物を咀嚼して飲み込むとき、その食物が食道に入らず、きちんと食道から胃に入るような仕組みが働いています。ところがこの連携がうまくいかなくなると、食物が食道に入り、その結果肺に炎症が起こることになります。この際、食物だけではなく口の唾液などに含まれる細菌が、誤嚥により肺に落ち込みます。口の中には嫌気性菌と呼ばれる種類の菌が多く、これが肺炎の原因菌となることが多いことが知られています。重症心身障害を持った人や高齢者からだの弱った人では、このタイプの肺炎を起すことがあります。また、明らかな誤嚥が見られなくても、夜間睡眠時などに起こる微小誤嚥(唾液や口内物を誤嚥)が誤嚥性肺炎の原因として重要です。

誤嚥の危険因子には嚥下機能の低下や胃・食道の機能低下が挙げられますが、誤嚥によ

る肺炎のリスクにはこれらに加えて、痰をうまく出せない、気道から細菌を排除できない、免疫が落ちてきている、などの要因が挙げられます。

■市中肺炎、院内肺炎、医療介護関連肺炎に分けられる

肺炎が起こる環境、場所によって分ける方法があります。入院などをしていない人に起こる市中肺炎(市中で起こる)、病院に入院している人に起こる院内肺炎、そして高齢者施設や介護施設で起こる医療ケア関連肺炎です。それぞれによって原因となる細菌(起炎菌と呼ばれます)が異なり、また生じる肺炎の性質も異なってきます。市中肺炎は肺炎球菌、モラキセラ菌、インフルエンザ菌(インフルエンザウイルスとは別物です)、マイコプラズマなどが原因となりますが、院内肺炎は病院に入院中に緑膿菌、MRSAなどにより重症の肺炎を起こしますし、耐性菌が多いのが特徴です。医療介護関連肺炎はこの中間に位置し、肺炎球菌などとも緑膿菌、MRSAなども原因菌となり、耐性菌が20%程度分離されます。

■肺炎の治療と予防は?

細菌性肺炎の治療は、原因菌に有効な抗菌薬を投与することです。喀痰などを調べ、原因菌を確定し、またどの薬剤が有効であるかを調べることも大切ですが、検査結果を待つまで、その臨床的特徴(胸部画像、採血データ、自覚症状など)から原因菌を推定して抗菌薬が投与されます。医療者が肺炎の重症度を判定する際には、70歳以上の高齢かどうか、呼吸や循環、意識の状態、脱水があるかなどを参考にします。

抗菌薬を決めるうえで、重症度や耐性菌(くすり効きにくい菌のことです)、敗血症(菌が血液を介してからだじゅうに広がること)の有無が大切です。誤嚥性肺炎の予後には、体を自分でどれくらい動かせるか、栄養状態、脱水、血液中のアルブミンというたんぱく質の減少がかわります。

肺炎の予防には主にワクチンが用いられます。肺炎球菌は肺炎の原因菌として最も頻度が高く(といっても25%程度ですが)、また毒力も強いので、その予防のため肺炎球菌ワクチンが開発されています。わが国では2種類のワクチンがあり、小児や成人など接種対

象者の年齢、また注射の仕方に違いがあります。成人ではこのうちの1つは定期接種(65歳以上のひとで、65歳、70歳、75歳など5歳刻みの時期に1回だけ、自治体からの援助が付きます。)が推奨されています。

誤嚥性肺炎に関しては、誤嚥そのものを防ぐ対処法(言語聴覚士や理学療法士の方が行う嚥下のリハビリテーションなど)が必要です。また口の中の環境をできるだけきれいにするため、歯みがきをはじめとする口腔ケアと呼ばれる対処法が重要となります。さらには嚙む力を保ち、口の中の環境を保つため、自分の歯をできるだけ失わないようにしなければなりません。「80歳で20本の歯を残す」ことを目標とする運動は、歯医者さんたちが進める「8020運動」と呼ばれています。

2021年度予算

2021年3月11日2020年度第5回理事会にて2021年度予算が承認されました。
予算の概要については、以下の通りとなります。

2021年度 資金収支予算書

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日 単位：千円

科目名	2021年度 予算額 (A)	2020年度 予算額 (B)	増減 (A-B)
《事業活動による収支》			
(収入の部)			
児童福祉事業収入	3,611	3,582	29
障害福祉サービス等事業収入	486,454	524,875	△ 38,421
医療事業収入	812,190	782,150	30,040
借入金利息補助金収入	0	0	0
経常経費寄附金収入	19,030	20,550	△ 1,520
受取利息配当金収入	1,010	1,002	8
その他の収入	6,339	6,608	△ 269
事業活動収入計①	1,328,634	1,338,767	△ 10,133
(支出の部)			
人件費	1,050,129	1,051,000	△ 871
事業費支出	161,465	162,519	△ 1,054
事務費支出	106,040	108,648	△ 2,608
利用者負担軽減額	0	0	0
支払利息支出	0	0	0
その他の支出	0	0	0
流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0
事業活動支出計②	1,317,634	1,322,167	△ 4,533
事業活動資金収支差額③=①-②	11,000	16,600	△ 5,600
《施設整備等による収支》			
(収入の部)			
施設整備補助金収入	0	0	0
施設整備等寄附金収入	0	0	0
設備資金借入金収入	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0
その他の施設整備等による収入	0	0	0
施設整備等収入計④	0	0	0
(支出の部)			
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0
固定資産取得支出	211,000	288,600	△ 77,600
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0
その他の施設整備等による支出	0	0	0
施設整備等支出計⑤	211,000	288,600	△ 77,600
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	△ 211,000	△ 288,600	77,600
《その他の活動による収支》			
(収入の部)			
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0
長期運営資金借入金収入	0	0	0
長期貸付金回収収入	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0
積立資産取崩収入	200,000	272,000	△ 72,000
サービス区分間繰入金収入	161,160	31,293	129,867
その他の活動収入計⑦	361,160	303,293	57,867
(支出の部)			
長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0
長期貸付金支出	0	0	0
積立資産積立支出	0	0	0
サービス区分間繰入金支出	161,160	31,293	129,867
その他の活動支出計⑧	161,160	31,293	129,867
その他の活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	200,000	272,000	△ 72,000
予備費支出⑩	0	0	0
当期資金収支差額合計⑪=③+⑥+⑨-⑩	0	0	0
前期末支払資金残高⑫	427,134	427,134	0
当期末支払資金残高⑬+⑫	427,134	427,134	0

1.前提条件

2017年度より開始された社会福祉充実計画(社会福祉充実残額が生じる場合には、所轄庁の承認を得た上で、これに従って、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、当該財産を計画のかつ有効に再投下していくもの)の最終年度となる。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行拡大は続くことが予想され短期入所の稼働制限(現在6床中1床稼働)や通所を始めとする在宅利用者の事業においても影響を受け続けることを想定した。このような状況の中、入所を希望する待機者の方々に対し、短期入所枠の内、1床を入所枠に変更し、また、短期入所についても受入れを広げる内容で積算した。

また、勤怠管理システム(タイムカード)の導入及び事業所内託児所の拡張を予算化し、職員への適正な業務管理及び福利厚生増進を図った。

2.基本方針

社会福祉法改正に伴って「社会福祉充実残額」発生により、その主な使途として将来を展望した土地取得や在宅支援増築事業を引き続き協議、検討していく。2021年度もこの基本方針のもとに、概ね収支均衡の収支計画を策定した。

3.具体的内容

2021年度事業計画の策定にあたっての主な項目については次のとおりである。

(1) 収入部門 (単位：千円)

10,000減 (対前年度計画比約99.2%)

①障害福祉サービス等事業収入 38,000減。

短期入所稼働制限により25,000減 通所事業10,000減

②医療事業収入 30,000増。

診療報酬単価増・病棟稼働率増・短期入所枠1床転換による増(うち10,000)

(2) 支出部門 (単位：千円)

4,500減 (対前年度計画比99.7%)

①人件費 1,000減。

前年度計画対比ほぼ同額で計上。99.9%

②事業費 1,000減。

水道光熱費の削減(電気・ガスなどの単価交渉をして削減)及び、行事等の縮小取り止め等による減。

③事務費 2,600減。

研修費の減少(遠方出張の自粛)

(3) 事業活動資金収支差額

5,600減 (対前年度計画比66.3%)

(4) 固定資産支出

勤怠システム5,000・温冷配膳車3,000・ベッド他3,000
社会福祉充実残額分200,000

2020年度第44回療育体験研究発表会報告

(3月4日 地域交流ホール)

研修研究委員会委員長／ひかり棟師長 藤島信也

今年も職員が各班に分かれ医療・療育等に関する研究を発表する時期になり、五題の研究が発表されました。前年度の八題から比べると三題少ない演題数でしたが、時期的にどの発表も重要なもので質的にも深い内容だと感じました。質疑応答も活発に行われ、研究班以外の職員も積極的に意見が交換できたのではないかと考えています。発表された五題について紹介します。

演題1「業務改善からみた事務系システムの分析」

管理棟研究班

○田中和人ほか

旧システムの導入開始から13年が経過。その後、プログラム開発者以外のメンテナンスが困難な事やシステム障害が生じやすくなった。このような状況から次期システム構築プロジェクトが開始され、2020年3月から事務系システムが稼働し今回はグループウェアサイボウズofficeを取り上げ、使用状況、今後の展望について考察した。サイボウズの機能全

般については使いにくい、知らない機能があるという意見が多くあり、今後の展望として職員への操作研修会を行い操作技術の習熟を図ると共にマニュアルの整備が必要である。サイボウズの利用度の高い3機能の展望としてメッセンジャー機能はアンケート機能を活用し意見の集計や統計の合理化につなげて行く。スケジュール機能は委員会参加者の一括表示機能を可能にし、予定把握を簡易的にする。車両予約管理・施設予約管理を一括化する為に使用規定の作成、操作機能説明会を予定する。申請機能については申請者、承認者は自己の権限範囲を知り、購入規定に沿って主体的に入力する事や運用規程の整備により共通認識を浸透させていきたい。

演題2「不適応行動を示す重症心身障害者に対する行動分析と対処法の検討」

地域療育部研究班

○松元りかほか

20代の女性(先天性風疹症)で難聴がある人工呼吸装着、経

管栄養をしている利用者の不適応行動に焦点をあて、行動分析を通して課題改善への可能性を探った。通所利用時、「不適応行動の内容」「直前の出来事」「直後の内容」、現れた行動が「快」「不快」「要求」いずれの表現か記録した。記録から行動を評価し他事業所の取り組みも参考に

演題3「股関節開排時の介助負担軽減を目的とした全身振動刺激による持続効果の検討」

リハビリテーション研究班

○金子華慧ほか

ADLは食事以外全介助が必要な40代男性(脳性麻痺)に全身振動刺激を加え股関節開排時の介助負担軽減の効果が持続性を検証した。ポ

カ月間、実施した。終了1カ月後も効果が持続しているという結果が得られ、効果持続の一つの要因が頻度の関与が示唆された。(今年度「優秀賞」を受賞した研究発表でした。)

デーシエイカープロという刺激装置を使用し刺激装置に端坐位にて足底接地し5分間、8週間(週5日間)実施する。評価は介助スタッフへのアンケート、股関節開排時に関与する運動・筋肉群の可動域などの計測を介入前、後、終了後1カ月に実施した。股関節開排時の介助負担軽減の軽減に関しては介入期間後、終了後1カ月後ともに「足が開きやすかった」との声が聞かれた。今回の振動刺激は端坐位姿勢で刺激入力しており、大内転筋・ハムストリングの筋緊張緩和の効果がみられていて股関節屈曲・外転・膝伸展の改善に繋がったと考えられる。持続効果では介入前は週1回の訓練だったが、介入中は週5回の全身振動刺激の訓練をした事で効果が持続したのではないかと考えられた。今回、股関節開排時の介助負担軽減の持続性を目的に全身振動刺激を2

めぐみ棟看護研究班

○白川愛実ほか

病棟職員に感染症対策に対する意識調査を行い80%以上の職員が手洗いはできていると回答していた。実際に手洗いチェッカーを実施した結果、指先、手の甲に65%の割合で洗い残しが見られた。チェッカーの結果を開示し振り返り、洗い残しの多かった部位をポスターにして掲示した。また、手洗い手順カードを作成し毎日、ジェスチャーとともに復唱した。その後、チェッカーを実施すると指の間、手の甲、手のひら、親指の4カ所の改善が見られた。指先の洗い残しは改善が見られなかった。今回の取り組みにより部分的な改善があった。今後もチェッカーを定期的に使用し効果的な手洗いができるように継続した取り組みが必要である。

①1日の流れを図示②不適応行動後の場所移動③役割活動などの対応を企画し行動変容の効果を検証した。不快行動の直前には、「自分から注意がされる」「行動を制限される」「要求を通らない」という特徴がみられた。取り組み後にはジェスチャーによる要求行動が減少したが、うまく意思疎通ができない事から経鼻チューブ除去などの行動により要求していた場合もあった。場所移動については一定のクールダウン効果があった。役割活動は持続しなかったが活動提供の方法を工夫すれば持続する可能性がある。今回、不快行動はわずかに減少したが大きな変化には至らなかった。しかし本人の要求に対応できる環境づくりが行動変容につながると考えられる。様々な表現で発信される要求を理解し応えていく事が不適応行動の改善になる。

演題5「重症心身障害者への呼吸療法の検証」

ひかり棟研究班
○印 美帆ほか

40歳台の女性(コルネリア・ド・ランゲ症候群、脳性麻痺)が原因不明の啼泣が続いていた。啼泣の原因が呼吸状態か消化器症状にあると考え、対処療法として腹臥位を実施していた。今回、定期的な腹臥位を1日1回10分程度、1カ月間、実施し啼泣の変化を検証した。腹臥位を実施する事で痰の咯出に対する有効性は明らかになった。しかし、啼泣回数に変化はなく、啼泣に対する腹臥位の有効性は明らかにならなかった。啼泣予防として腹臥位は有効ではないが、啼泣時の対応として検討したい。また啼泣の原因についても腹部症や活動面にフォーカスし検証を続けていく必要がある。



ご協力ありがとうございました

(2020年12月1日〜2021年2月28日) 敬称略

〔法人〕

一般献金

青山学院初等部、安部聖子、阿部直子、安藤榮二、飯田節子、家次早紀、石垣幸枝、伊集院幼稚園、磯寄佳果、市川八幡キリスト教会、糸島聖書集会、今治バプテスタ教会、宇美キリスト教会、梅崎正広、梅田淳子、嬉野キリスト教会、大分キリスト教会、大久保バプテスタ教会、大鶴敬治、大牟田フレンドシップキリスト教会、岡久凱、岡本好枝、甲斐丈士、(学)西南女学院、(学)西南学院、(学)西南学院西南学院高等学校母の会、(学)西南学院西南学院中学校母の会、(学)西南幼稚園、(学)捜真学院、(学)汀幼稚園、(学)弥生幼稚園、活水同窓会九州支部、金井敏男、金子純雄、(株)一粒社ヴォーリス建築事務所、神愛幼稚園、関西学院宗教学活動委員会、菊地純子、菊池孝子、菊池直樹、企救バプテスタ教会、北九州キリスト教会、木戸美沙、教会と青少年委員会、草苑幼稚園、栗ヶ沢バプテスタ教会、栗田昌枝、恵泉バプテスタ教会、高知伊勢崎キリスト教会、郡山コスモス通りキリスト教会、志満秀武・てい子、こひつじ幼稚園、相模中央キリスト教会、篠栗キリスト教会、品川バプテスタ教会、社会福祉法人シオンの丘愛の園保育園、宗教学人日本基督教団福岡城東橋教会、逗子第一バプテスタ教会、周船寺第二幼稚園、周船寺幼稚園、西南学院舞鶴幼稚園、西南学院高等学校、西南学院中学校、西南学院バプテスタ教会、西南学院中学校・高等学校、聖路加国際病院礼拝堂、仙台バプテスタ教会幼稚園、高橋香代子、高松太田キリスト教会、高松常磐町キリスト教会、田隈バプテスタ教会、竹市志津、筑紫野南キリスト教会、調眞琴、筑波バプテスタ教会、手作品売上げ、天使幼稚園、戸島栢子、富野バプ

テスト教会、内藤慶治、長尾彩香、長崎靖子、長崎バプテスタ教会光の園、中村晴光、西加代子、二宮紀郎、日本キリスト教会房総君津教会、日本キリスト教団東郷教会こども教会、日本キリスト教団長崎銀屋町教会、日本基督教団東村山教会、日本基督教団門司大里教会、日本キリスト教団八幡西教会、日本バプテスタ伊集院キリスト教会、日本バプテスタ春日原キリスト教会、日本バプテスタ女性連合、日本バプテスタ仙台基督教会、日本バプテスタ東京第一教会、日本バプテスタ東熊本キリスト教会、日本バプテスタ広島西キリスト教会、日本バプテスタ四日市教会、日本バプテスタ連盟天城山荘、日本バプテスタ連盟諫早キリスト教会、日本バプテスタ連盟久留米キリスト教会付設めぐみのその幼児園、日本バプテスタ連盟南光キリスト教会、日本バプテスタ連盟三島バプテスタ教会、日本バプテスタ連盟瑞穂キリスト教会、認定こども園光の子幼稚園、橋本治光、バプテスタ福岡教会、林俊明、春口和子、東福岡幼稚園、光の丘幼稚園、ひかり幼稚園、久山療育園保育園者会、氷室篤子、平尾バプテスタ教会、平塚バプテスタ教会、深見達弥、福岡城南教会、福岡女学院幼稚園、福岡女学院看護大学宗教部、福岡女学院中学校・高等学校、福岡西部バプテスタ教会、福岡第一ライオンズクラブ、福岡中部教会、福岡中部教会婦人会、福岡中部教会付属養巴幼稚園、福岡友の会、福田靖豊前キリスト教会、二日市栄光キリスト教会、法蓮寺佛教婦人会、本田光、前田圭子、松岡順之介、水野隆代、溝上敦子、水戸バプテスタ教会女性会、宮内亘、宮崎信義、宮崎キリスト教会女性会、茗荷谷キリスト教会、村津俊博、明治学院高等学校、安川長則、矢野和美、八幡バプテスタ教会、山形南部教会婦人会、山口正夫、山崎工、山下憲一、山田俊介、百合丘めぐみ幼稚園、横溝玲子、横山友美、吉

〔重症者ホーム〕

一般献金

自動販売機売上献金、市川大野キリスト教会、井手伸昌、神代曉宏、久山療育園来久の会、重症者ホームさやま家族会、田川賢二、中根史子、久山療育園献金箱、藤城淳子、又野洋子、真鍋恵美 (以上607,328円)

〔施設〕

一般献金

青山学院中等部、あかし幼稚園、ウエスレアン・ホーリネス教団福岡エルシオン教会、大塚利一、大原信幸、岡本好枝、陰山直樹、清星幼稚園、清星幼稚園保護者会、久保山信・敬子、栗山高子、柴田公文、高瀬孝介、田中節子・由美、中垣路津子、日本バプテスタ船橋教会組織55周年記念コンサート有志、花原章二、早川芙美子、松原こひつじ幼稚園、福岡南キリスト教会、船附啓二、松尾貴光、松尾勇一、宮内亘、森永清治(亜希)、安井公恵、山口吉昭、霊水キリスト教会 (以上523,000円)

献品

上尾キリスト教会(タオル)、イオン九州(株)イオンモール福岡(クリスマスプレゼント)、大塚利一(ハーフケット)、岡本好枝(タオル)、くぼらコーポレーション(ケーキ)、相模中央キリスト教会(食服用エプロン他)、高瀬美代子(タオル)、高橋香代子(手作りふきん他)、仲村文紀(もち米)、波佐間容子(ピアニカ他)、福岡友の会(石けん他)、福岡丸本(ケーキ)、松尾国利(葉書)、松川可歩(クリスマスツリー)、松田真奈(ゴム手袋)、森美恵子(車イス他)、安井洋子(マスク他)、山崎製パン従業員組合福岡支部(ケーキ)、山田聖(センサーサウンド他)、匿名(リンゴ)、ロジテム九州(消毒液スタンド他) (以上3,780円)

44年のあしあと



看護部長 吉本法生

傾斜配置への取り組み

1996年(平成8年)久山療育園の看護部の管理者は大きく変わりました。塚原看護部長をはじめひかり棟、めぐみ棟、外来すべての師長が新しく就任しました。又、園長には宮崎信義先生を迎え、新たな看護、療育が始まりました。3人の師長(当時は女性は婦長、男性の私は士長でした)は久山での経験はありましたが、管理者としては初めてで、前任者も塚原部長しかおられず、すべてが手探りの状態でした。宮崎先生からはいろいろな新しい管理方法や、病棟運営に対して方針に基づくご指示があり悩みもしましたが、今考えればよい経験をさせてもらったと思っています。

中でも一番の仕事は傾斜配置の実施でした。その頃の病棟の状況は、動く利用者や医療が必要で寝たきりの利用者が混在する状態で医療機器のそばに動く利用者が近寄りコード類を遊びの道具にしているような状況でした。各病棟に利用者40名、看護、療育が均等に配置されていま

た。傾斜配置の打診がされてから看護部で利用者の体重や医療度、身体状況、動きや知的認知を比較し35名と45名の利用者で医療二ドの高低による傾斜をつけ、また職員も35名の医療重点病棟(めぐみ棟)には看護職を多めに配置し、45名の生活重点病棟(ひかり棟)には介護職を多く配置しました。

傾斜配置は平成9年から実施しました。医療重点病棟では医療二ドの高い人に手厚い医療を、生活重点病棟ではめぐみ棟は出来高制、ひかり棟は定額制を受けることになりました。園の方針は定額制はリハビリ等に関して、してもしなくても収入を得ることが出来るが、それに甘んじることなく利用者に必要な処置、対応を行い可能な限り利用者のQOLを高めることを目標にしました。定期的に病棟配置の会議を持つことにより利用者の方がその病棟に適しているかも確認していきま

ことで、地域との連携を深めるために夕方から始まる地域の祭りや、地区の運動会に積極的に参加しました。動ける利用者に対しては、ボランティアバスでボランティアさんの送迎を共にしドライブを楽しんだり、トリアスのゲームセンターへ出かけたりもしました。グループ単位の一泊園外活動は家族と共に杖立温泉旅行を実行しました。



浴衣姿で楽しんだ杖立温泉での模様(愛の手を106号掲載写真)



家族と一緒に阿蘇ファームランドへ(愛の手を117号掲載写真)



天井吊下配管の様子(愛の手を106号掲載写真)

医療重点病棟で最初に行ったことは病棟内の改築です。詰め所から左右の病室に動けるように壁をくりぬき導線を変更し酸素や吸引のアウトレットの数を多数増築、コンセント類と共に天井から吊り下げました。医療機器類の血液検査装置、呼吸器、気管支鏡なども購入されました。このときに、園長が福岡東病院から呼吸器専門の宮崎先生、事務長がパプテスト病院の事務長を経験されている鈴木事務長だったことが大きな支えになりました。宮崎先生が私

察ができるようになったことや、口腔機能の未熟な方が多く、注入や食事時間が長くかかる方も多数見られ、医療重点病棟の毎日が多忙だったことを思い出します。

そのような中でも職員は利用者の笑顔を求め療育を行ったり、園庭で花火大会を企画することもありました。

利用者の高齢化などが進み、医療処置の必要な方が増え、また、グループホームなどもあり、病棟に関しては以前のような傾斜は少なくなってきたような気がします。

物のSPO2モニターを提供され利用者の呼吸状態の観



藤田 英彦

五旬節の日が来て、一同が一

つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、彼らが集まってくる家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、ほかの国々の言葉で話し出した。
(使徒言行録2:1-4)

今年のペンテコステは、5月23日になります。ペンテコステとは、ギリシャ語の50という意味で、復活節から数えて50日目に当たります。この日はパレスティナ地方では「麦の収穫祭」というお祭りの日でもあります。

私は、この原稿を3月11日の「東北大震災10年」の日に書いています。
『朝日新聞』朝刊第1面によると、今年3月10日現在の警察庁認定死者、行方不明者、

関連死者合計は22,192人、避難生活を余儀なく続けている人はなお4万人を超えているといわれます。これまでの復旧費は30兆に達すると言われ、他に廃炉など廃棄物など百年も掛かるだろうとのことです。

同じ日『朝日新聞』朝刊1面に「新型コロナウイルス」の記録があり国内感染者443,182人で、新規1,316人、死者8,419人+54人。世界では感染者1億1,757万1,119人、新規40万6,952人、死者261万608人+1万104人とあります。

前から気に掛かっていたことですが、アツという風に世界に広がったコロナ禍の感染率は、圧倒的に高いアメリカをトップとしてヨーロッパの所謂キリスト教先進国と言われる地域に多い現象です。更に深刻なのは、感染阻止のため、マスクなどが大騒ぎしているワクチンの製造と販売網の関係です。言うまでもなく、この対策のために、先進富裕国の大資本下にある製薬会社が、生殺与奪の権を握り、日本は相当に遅れている為、

慌てて財力でワクチン購入を図っています。需要と供給の関係ですが、長らく欧米のキリスト教国の植民地であり、今日も貧困の絶えないアフリカ、中南米、それにアジアの諸国は対応できるでしょうか。もし間に合わないときは、それらの国の汚染が厳しくなったウイルスから逆襲されるのではないかと心配です。国内の富める者と、障害者、老人、貧困家庭、弱者との関係も案じられます。

字数の枠が限られているので、極めて雑駁ですが、ハンナ・アレントは「16世紀前後の宗教改革に伴って資本主義が発達してゆくその中で、「人間は近代に至り、自然を徹底的に利用してきたが、今や人間の力で、自然を創造するように迄なつた。もう一つは、我々の生活そのものが、労働と消費の一種のシンドローームの中に巻き込まれている」と言います。(ハンナ・アレント『人間の条件』)

ハンナ・アレントは、次のように述べます。「近代に於いて歴史を過程プロセスとしてとらえる。人間が歴史を製作できるというのが近代の特徴である。19世紀になると、人間を労働する動物『アニマル・ラポランス』

としてとらえるようになる。核分裂の問題、遺伝子組み換え等々により、自然も人間も思うままに造りかえることが出来るようになった。」と。

コロナ禍のこのような将来に希望の見えない暗い闇の時代、我々キリスト者はもう一度聖書のペンテコステの物語に眼を凝らして見たいと思います。

イエスは、自分を救うことをせず、徹底的に他者を愛し抜かれた後に、ゲッセマネの園で「父よ、できることならこの杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願い通りでなく、御心のままに」と祈られます。その後で十字架に架けられ「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになつたのですか。」と叫ばれ、息絶えられました。弟子たちは、このイエスによつて解放された新しい世界の到来を夢見ていたので、このイエスの姿に絶望し、一人残らず散り散りに去って行きます。復活のイエスは、その絶望して逃げ去って行った弟子たち一人ひとりに対し、愛をもつて赦して再び集められます。即ち、彼らは目標を見失い絶望状態にあつた者たちでした。その彼らを赦して、復活のイエスは再び呼び

戻し、ご自身の傷を示して天に上げられました。
「使徒信条」には、「死んで葬られ、陰府に下り、三日目に復活された」とあります。「陰府にくだり」は「地獄にまでゆかれ」という意味です。

イエスは、ご自身が十字架で受けられた傷跡を示され、40日目に天に挙げられます。彼らは暫く茫然としますが、再び彼らが祈っている時に聖霊が下つてペンテコステが起こり祈っていた者たちはほかの国々の言葉で話し出したのです。他の国々の言葉でと云うことは、今まで自分たちの世界で縮こまっていた者たちが、イエスの愛と赦しの中で絶望を乗り越え、出て行って色んな他の国々の言葉で話し合えるグローバルな世界で語る人間となることではないでしょうか。コロナ禍に絶望するに終わらず、イエスの赦しと愛にあつて生きましよう。

ひかり棟より

「果物ポッチャー！」

みなさん「ポッチャー」はご存じですか？

ポッチャーとは簡単に説明しますと、ボールを使った競技で、ターゲットの白いボールめがけて自分のボールを投げ、白いボールの一番近くに投げた人の勝ち！というスポーツです。パラリンピックの競技にも選ばれているので、興味のある方はぜひ挑戦してみてください！

ひかり棟では療育活動でポッチャーを実施しています。ルールは簡単ですが、いざ試合が始まると奥が深くて利用者さんスタッフともにとても盛り上がる活動の一つです。

ですが、今回はちよつといつもと違うテイストにするために、果物や野菜でポッチャーを行ってみました！果物や野菜と言っても本物ではなく、リアルなおもちゃです。



ポッチャーのボールはどれも同じ形ですが、果物は全部違います。みかん・りんご・メロン・パイナップルなどなど、丸っこいけど完全な球体ではないので、どこに飛んでいくか・転がっていくか見当もつきません！

まん丸なグレープフルーツがうまく転がっていかと思いきや、意外や意外！ポコポコのかぼちゃの方がターゲットのすぐそばに止まったり！

利用者さんスタッフともに果物と野菜の動きに目が釘付け！笑い声と笑顔が絶えない活動時間でした！

(ひかり棟介護福祉士 柳 裕介)



「みんなで『さげもん』作り！」

3月3日の桃の節句、病棟では季節行事のひな祭りが開催されました。今年はまだ『さげもん』作りにチャレンジ！

さげもんは、柳川市に伝わる風習で吊るし飾りのひとつです。縁起の良い鶴やウサギ、ひよこ、這い人形などの布細工と鮮やかな糸で巻き上げた「柳川まり」とを組み合わせたもので、「幸福」「健康」など、母親、祖母、親戚等の願いが込められているそうです。でも、たくさん作るの大変なので…今回はまりに見立てたお花紙のポンポンとみんなで作ったお雛様人形を合わせて、「久山流さげもん」にしてみました！さげもんなので、もちろんぶら下げることができます！完成したさげもんはデイルームの天井にぶら下げました。病棟は一気に春の装いです。

さげもん作りだけではなく、利用者みなさんもお雛様に変身☆たのしいのしい、ひなまつりでした♪

(ひかり棟保育士 佐藤有似子)



めぐみ棟より

「和菓子作り」

春になり暖かくなつてくると、お外へ飛び出し春の空気を思いっきり吸い込みながらゆっくりお散歩したくなりますね。花粉症の方は大変な思いをされていらっしゃるのでは？3月はお天気にも恵まれ屋外へ出る機会も多く、過ごしやすいい日が続いて嬉しい限りです。

餅。花紙を丸めて、丸めた花紙をさらに花紙で包んで形を整えればできあがり。美味しそうな春の和菓子の完成です。一緒に作ったご利用者は「クシャクシャ」と花紙を形成したり、「ギュッギュッ」と押しつぶしたりする心地良い手の平への刺激で、春の眠気がお友達になつてくれたようでした。

さて、そんなお散歩日和にお供したくなるのが甘いおやつではないでしょうか。花より団子な気分にもなってきたので、少し風の冷たい日に春らしい色合いの和菓子を作ってみました。



みなさんの春のお供にも、甘い和菓子はいかがですか？
(めぐみ棟保育士 河野敦美)

「鬼は外！ 福は内!!」

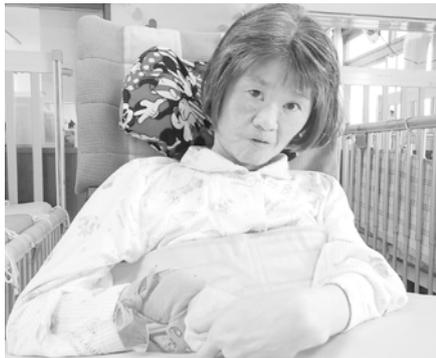
まだまだ世間ではコロナが流行しています。少しずつ落ち着いてきてほしいところですがめぐみ棟の利用者の方々は体調を崩すことなく元気に過ごされています。

2月3日、各部屋ユニット別での豆まきになりましたが、節分行事が行われました。

みんなでコロナをやっつける気持ちを含めて、めぐみ棟に登場した鬼さんに新聞紙で一人一人丸めて豆に見立てたボールを使って大きな声で「おにはそと」「ふくはうち」と言いながら利用者の方々は楽しそうに投げ、おにに当たると嬉しそうに笑っている様子が見られました。

少しの時間でしたがみんなで楽しむことが出来ました。来年はみんな一緒に節分行事が出来たらいいなと思います。

(めぐみ棟保育士 田崎加奈子)



2021年度 入所行事予定

4月	9日(金)	イースター	8月	20日(金)	誕生日会	12月	3日(金)	誕生日会
	23日(金)	誕生日会	9月	10日(金)	誕生日会		15日(水)	入所クリスマス
5月	21日(金)	誕生日会		17日(金)	久山なないろの会	1月	28日(金)	誕生日会
6月	25日(金)	誕生日会		23日(祝・木)	開園祭	2月	3日(木)	節分
7月	7日(水)	七夕	10月	8日(金)	誕生日会		25日(金)	誕生日会
	13日・14日	夏祭り		26日・27日	秋のイベント	3月	2日(水)	ひな祭り
	30日(金)	誕生日会	11月	19日(金)	誕生日会		18日(金)	誕生日会

☆余暇活動：・喫茶活動 など

※コロナウィルス感染状況に応じ、日程や内容を変更する場合があります。

通所で頑張っています

祝 成人式!!

—成人式に参加して—
桜の花も満開を迎え花吹雪舞う美しい季節となりました。

通所では、3月23日火曜日、コロナウイルス感染拡大の影響で1月に実施できなかった成人式を行いました。今年度は3名の利用者の方が成人を迎えられました。

保護者の方が来園する道中、お日様に照らされた満開の桜並木を見ながら、「まるで桜の木々にお祝いをしてもらっているような嬉しい気持ちになりました。」と仰るほど、本当に良い気候に恵まれました。

式典ではそれぞれの「20歳までの歩み」と題した生い立ちのスライドショーを上映しました。私自身も今年成人を迎える子を持つ親として、親御さんの思いをより身近に感じることができました。たくさん愛情に包まれてここまで立派に成長された皆さんの姿は本当に晴れ晴れとして素敵でした。最後に参加したスタッフや利用者の方々に「いのちのうた」の贈り物をしました。歌に合わせて指揮をとったり、上手に口ずさんだり、みなさんのそれぞれのスタイルでお祝いしていました。どうか、成人を迎えられた皆さんとご家族の皆様のこれからの人生も明るく楽しく実り豊かなものとなりますようにお祈り申し上げます。
(通所介護福祉士 永藤七巳子)



**2021年度
通所年間
行事予定**

始園式	4月5日(月)~4月9日(金)
運動会	5月24日(月)~5月28日(金)
夏祭り	6月28日(月)~7月2日(金)
クリスマス	12月17日(金)~12月23日(木)
成人式	2月22日(火)・2月24日(木)

今年度も集会形式の行事は見合わせて、通常の活動の範囲内で実施致します。

※予定は変更になる事がございます。ご了承ください。

児童発達支援事業 宇宙

「卒園式」&「修了式」

2021年3月26日、交流ホールの窓から見える満開の桜を背景に卒園式を、3月29日には修了式を行いました。

まずは卒園式。卒園される二人とも、卒園式にぴったりの春らしい洋服と可愛い笑顔で来所されました。

お祝いに集まった皆さんのスタッフの拍手と紙吹雪の中、パプリカの曲で入場、まず「旗取り」をしました。二人揃っての運動会がずっと行えなかったのが、これで新一年生に向けての一步を進む事が出来ました。年長らしい、落ち着いた様子の二人でした。



そして修了式。二人が新たなステージに進む為に修了されました。自分の足で一歩いっぽ進みながら入場、とても頼もしい姿でした。二人とも舞い散る紙吹雪に興味深々の様子で、スタッフが何度か何度も紙吹雪をひらひらとさせました。

それぞれに「卒園証書」「修了証書」を渡した後は、小さい頃から二人と関わってきたスタッフ一人ひとりの言葉がたくさん。お母様からのお話では、生まれた時の事や初めて宇宙にきた時の事、これからの事等、思いの詰まった言葉ばかりで、胸が熱くなりました。

卒園されても修了されても、私たちはずっとずっと応援しています。ご卒園・修了おめでとうございます。(通所保育士 寺田智加子)

重症者ホームひさやまより

「クレープ&アイスクリームパーティー」開催

2021年2月13日、世間ではコロナウイルスが猛威を振るう中、重症者ホームひさやまでは、「クレープ&アイスクリームパーティー」が開催されました。

2020年度は、外出や体験の行事が行えないため、人との交流も限られる大変で寂しい年でした。そのような時世だからこそ新しい体験をと考え、普段の食事には出ないメニューを用意して少しでも外出気分を味わえたらと思いい企画・実行しました。

当日は、昼食とおやつを含めた行事でしたので、クレープの中心はシューチキンやハム・ウインナー！炒り卵等の食事用の具材と、チョコやフルーツ・ホイップクリーム等のデザート用の具材を用意し好みに応じてアイスクリームの用意もしました。

そして、メインのクレープは焼く工程があるためスタッフが担当します。今回購入した家庭用クレープ製造機を使用するのはスタッフが全員初めてでクレープ一枚焼くにも四苦八苦。

頑張つて焼いていく中、薄く綺麗に焼いて提供するお店のスタッフさんの手腕に偉大さを感じました。多少、厚みや形に不ぞろいながらも人数分を焼き上げ「モチモチもアリか」とスタッフ間で慰め

あいながら皆で食事開始です。

クレープ片手に、具材を選びチーズやマヨネーズで味を調整！入居者さん一人一人が好きな具材を詰め込んだクレープの完成です。

自分が選んで作ったクレープを見てみんな笑顔、食べてまた笑顔。一枚目を食べ終えて今度は違う具材で二枚目、三枚目とスタッフ「デザート食べられるかな？」と心配する勢いでクレープを食べました。昼食クレープを堪能した後は甘い、甘いデザートクレープの時間です。定番のチョコバナナやチョコイチゴにホイップクリームとトッピングシュガーで飾り付けをしたクレープはまさに王道！

その他にケーキのように盛りつけられたクレープやアイスのトッピング等、色々な味のデザートも堪能出来ました。

すでに、たくさんクレープを食べた後でも「甘いものは別腹」を合言葉に時間の許す限り食べて今回の行事は終了を迎えました。

まだまだ、外出等が難しい時が続きますが、室内でも楽しめる行事を企画して入居者さん達と楽しんで過ごしていきたいです。

(介護福祉士 進藤 務)



ちょっとトッピングが少ないです！



生クリームといちごのクレープつくったよ



できたてはほかほかで美味しい！



チョコレートソースを多めにかけたよ

メモ帳

- 【1月】▽29日 誕生会
- 【2月】▽3日 節分
- 【3月】▽3日 入所ひなまつり ▽5日 福岡特別支援学校(高等部)卒業式▽11日 第5回理事会
- ▽12日 福岡特別支援学校(中等部)卒業式
- ▽18日 終業式▽19日 誕生会▽23日 通所成人式

職員の異動

【退職】

- ▽村田 葵(介護福祉士) 1/31付
- ▽大谷 美保(看護師) 3/31付
- ▽高橋 愛(看護師) 3/31付
- ▽中野 和彦(看護師) 3/31付
- ▽齊藤 千尋(介護福祉士) 3/31付
- ▽中根 史子(事務員) 3/31付
- ▽國崎 隆子(療育員) 3/31付
- ▽高吉美智子(療育員) 3/31付

【採用】

- ▽中神 康代(事務員) 3/1付
- ▽荒川 勉(看護師) 4/1付
- ▽今林 愛菜(看護師) 4/1付
- ▽山口 直子(看護師) 4/1付
- ▽吉田 直樹(看護師) 4/1付
- ▽吉田 藍(看護師) 4/1付
- ▽原田 梨歌(介護福祉士) 4/1付
- ▽宮崎 柚奈(介護福祉士) 4/1付
- ▽山内美菜子(介護福祉士) 4/1付
- ▽山下 莉奈(保育士) 4/1付
- ▽山田 梨愛(保育士) 4/1付
- ▽寒松 正(事務員) 4/1付





新入職員の紹介

12名の新しい仲間をお迎えしました。ご紹介いたします。

- ①名前・職名・部門配置
- ②久山療育園で働くことについての抱負
- ③長所・短所
- ④利用者の方や家族とどのように関わりたいですか？



- ①山口 直子(看護師、めぐみ棟)
- ②利用者さんの笑顔をひきだせるよう頑張ります。
- ③長所…優しいと思います。
- 短所…マイペース。
- ④利用者さんとご家族に信頼されるよう笑顔で寄り添っていきたくです。



- ①吉田 直樹(看護師、めぐみ棟)
- ②利用者さんと共に楽しみながら働いていきたいです。
- ③長所…明るい。
- 短所…緊張しやすい。
- ④利用者さん、ご家族に信頼していただけるよう関わりたいです。



- ①今林 愛菜(看護師/ひかり棟)
- ②積極的に頑張ります!!よろしくお願ひします。
- ③長所…よく笑います。
- 短所…優柔不断です。
- ④もちまへの笑顔を利用者様やご家族の方に届けたいです!!



- ①荒川 勉(看護師/ひかり棟)
- ②利用者さんの意思を尊重し、その人らしく過ごせるように関わりたいです。
- ③長所…コツコツ努力します。
- 短所…心配性。
- ④利用者さんとご家族の訴えを聞き、意思を尊重できるように関わりたいです。



- ①山内美菜子(介護福祉士、めぐみ棟)
- ②利用者さんが少しでも快適に過ごせるような支援をしていきたいです。
- ③長所…おおらか
- 短所…マイペース。
- ④利用者さんやご家族の意思を尊重しながら関わりたいです。



- ①原田 梨歌(介護福祉士、ひかり棟)
- ②多くのことを学び、知識を身につけ、行動できるよう頑張りたいです。
- ③長所…明るいところです。
- 短所…文を考えることが苦手です。
- ④コミュニケーションをとり、寄り添っていきるように関わりたいです。



- ①宮崎 柚奈(介護福祉士、ひかり棟)
- ②実習では学ぶことができなかったことまで学べるように、また利用者さんにとって信頼して頂ける存在となるように頑張ります!!
- ③長所…笑顔で対応する。
- 短所…熱しやすく冷めやすい。
- ④利用者さんやご家族の要望にできるだけ応え、信頼していただけるように関わっていききたいです!



- ①山田 梨愛(保育士、めぐみ棟)
- ②いつも明るく元気に頑張ります!!
- ③長所…明るいところ!
- 短所…漢字が苦手です。
- ④利用者さんやご家族と一緒に自分も成長していけるようになりたいです。



- ①山下 莉奈(保育士、ひかり棟)
- ②利用者の方々と、毎日、笑顔で、楽しく日々を過ごせるように頑張ります!
- ③長所…笑顔で、いつも明るいところです。
- 短所…すこしドジなところがあります。
- ④季節の行事や、なにげない毎日の生活の中で、利用者さんの笑顔を最大限にひきだせる人になりたいです!



- ①吉田 藍(看護師、通所)
- ②日々、自分ができることを一生懸命行います。
- ③長所…変化に気付きやすいところ。
- 短所…心配性な所。
- ④利用者さんの方には残存機能を活かした看護を提供できるように日々努力をし、家族の方から話し掛けやすい存在になりたいです。



- ①寒松 正(事務員、事務部)
- ②一つ一つの課題を確実に対応していきたいです。
- ③長所…素直かな?
- 短所…マイペースな所。
- ④信頼関係を築いていきたい。



- ①中神 康代(事務員、事務部)
- ②利用者さんや職員の方を事務でサポートできるように頑張りたいです。
- ③長所…よく笑います。
- 短所…運動が苦手です。
- ④事務部では利用者さんやご家族とふれあう機会が少ないと思うので、廊下などで会ったときは挨拶やお話ができるようになりたいです。

ミットレーベン・ネットワークより

「生きるに値しない生命はない」

2016年7月26日未明に神奈川県相模原市にあった知的障がい者施設「津久井やまゆり園」(長期150人、短期10人)に、元職員の男が侵入して入所者を殺傷し、死者19人、重軽傷者26人(職員を含む)を出す事件を起こしました。犯人の植松 聖(さとし)は事前に衆議院議長を訪ね、その動機を主張し、自分の「正しさ」に基づいて犯行を実行したのです。

私たちはこの事件に沈黙してはならないと考え、同年11月16日付で「生きるに値しない生命はない」という声明文を全国のバプテスト教会に向けて発信すると共に、毎月の街頭募金のチラシに掲載して福岡市内で配布しました。それは、過去に類がない「ヘイトクライム(憎悪犯罪)」であり、障がい者に対する差別と生命軽視、そこには経済の論理に立った優生思想があることを訴えました。これは植松ひとりの問題ではなく、今の社会にある風潮を危惧し、警告するものでした。

裁判は、横浜地裁で死刑判決が出た。被告は控訴せず死刑が確定しました。しかし、犯人からのお詫びの言葉はなく、何がこの事件を起こさせたのか、解明されないまま多くの疑問が残りました。ここで問われたのは、「生きるに値しない生命はあるのか?」「誰がそれを判断するのか?」という生命に対する根源的な問いでした。しかし、植松の犯罪は裁かれても、この優生思想が裁かれるということはありませんでした。さらに殺害された19人

の人たちの名前は匿名で、「男性(女性)、〇〇歳」とされ、彼らがどのような人たちであったのかは、明らかになされませんでした。彼らは何重もの差別を受け、そして命まで奪われたのです。

私が「やまゆり園事件」に接して感じたのは、植松が職員として働いていた時に、同僚や施設は、彼に対してどれだけ適切な対応をしたのか、という疑問でした。しかし、判決文はそれとは違うことを述べています。つまり植松個人の問題に加えて、施設自体が障がい者の尊厳を著しく損なうような姿勢を持っていたことです。植松はそれを敏感に感じ取り、生命軽視の傾向を持つに至ったのです。これは、植松ひとりではなく、植松ひとりではありません。

この事件を追った毎日新聞は、本年2月11日朝刊「記者の目」(上東麻子)の「やまゆり園事件は終わったか」で、やまゆり園の問題や福祉政策に大きな責任があることを指摘しました。県の委託で同施設を運営していたのは社会福祉法人「かながわ共同会」で、ここでは利用者による暴力を振るったり、「(利用者)税金を使う必要があるのか」と発言する職員の存在があったことが述べられています。また、1日9〜11時間も、長期間にわたって車椅子に拘束したケースや、24時間にわたる長期

間の居室施設などの虐待があったのです。さらには同法人が運営する別の施設では、虐待通報によって県の調査が行われた直後に、「外部に通報した職員は」懲戒処分の対象にもなりうる」との文書が、理事長名で出ています。

判決は、「職員が利用者に暴力を振るい、食事を与えるというよりも流し込むような感じで利用者を入として扱っていないように(植松が)感じたことなどから、重度障害者は不幸であり、その家族や周囲も不幸にする不要な存在であると考えられるようになった」と、施設側の責任を指摘しています。そこには人権感覚の希薄さ、生命軽視があり、障がい者は仕方がないというダブルスタンダード(二重基準)があったのです。加えて理事の半数は県OBであり、このような実態を見逃してきた県の責任も問われなければなりません。

これら施設(福祉)の問題と共に、障がい者を地域から締め出し施設へと追いやった私たちの問題も指摘されなければなりません。国は近年、ノーマライゼーション Normalization の考え方に沿って、「施設」を解体して、「地域」のグループホームなどへの移行を進めようとしています。残念ながら地域にそれを受け止めるだけの力が育っていないことを、この事件はさらけ出しました。地域に施設を作ろうとすると、そこでは必ず反対運動が起こっているからです。

「重症児者が地域の中心で生きる」ことを設立理念に掲げた久山療育園の短期入所・通所利用・相談支援・支援は、このような問題を視野に入れて行われています。

しかし今、新型コロナウイルスによる療育活動全般が大きな制約を受けており、コロナ禍も二年目に入ると、「在宅」の孤立化が心配されています。

創立以来51年間、そして44年前に久山療育園が設立されてからは共に歩んできた「ミットレーベン・ネットワーク」(旧「バプテストコロニー友の会」)のボランティア活動も、この一年ほぼ休止状態にあります。「コロナ」が一日も早く収束し、神様のインマヌエルの祝福を分かち合う活動が再開できることを願っています。

(重症児者と共に生きる)

「ミットレーベン・ネットワーク」

会長 伊原幹治

ボランティアだより

『2020年度
ボランティア活動の振り返り』

2月末 活動休止
4月 在宅作業開始
7月 一部活動再開(人数・時間制限あり)
8月 再度、活動中止
10月 一部活動再開(人数・時間制限あり)
12月 再度、活動中止
在籍数 85名

活動再開時には、49名の方々に来園していただきました。

また、在宅作業の協力も多くあり、実際にお会いできない中、皆様とのつながりを深く感じられた1年でした。

次年度も、いつでも再開できるように準備し、職員一同お待ちしております。



【専用メールアドレス】

ボランティアに関するお問い合わせの方法として、専用メールを開設しています。「興味があるけど、どんなことするのか心配…」「行ってみたいけど、手続きは？」など、いつでもご質問いただけるようになっています。お気軽にご利用ください。

bora@hisayama-smid.jp

献金申込先

- 《郵送》
社会福祉法人 バプテスト心身障害児(者)を守る会
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1869 久山療育園重症児者医療療育センター内 ☎(092) 976-2281(代)
- 《郵便振込》郵便振替【01720-8-24404】名義：バプテスト心身障害者を守る会
- 《銀行振込》西日本シティ銀行久山支店 普71888 名義：バプテスト心身障害児(者)を守る会 理事長 宮崎信義
- 《ホームページ》当センターホームページから、クレジットカードによる寄付が可能となっています。「寄付金のお願い」より開いてください。また、郵便局振込用紙もパソコン画面よりダウンロードすることができますのでご利用ください。

個人、会社共に免税の対象になります。メール：hisayama@hisayama-smid.jp

歩 行 器

2021年度も、2020年から続く新型コロナウイルス感染症対策に追われています。

昨年の2月からはボランティア受入の中止、保護者の面会禁止、「緊急事態宣言」が全国に発令され通所事業等の一部制限。楽しみにしていた運動会も中止となりました。その後は全国的な会議や大会等一連の行事も中止となりました。6月からコロナ感染症も下火になり、保護者の面会も予約制で窓越し短時間ならば可能とし、発達支援事業も再開しましたが、7月から第二波が起きて感染対策を強化しました。その後10月からコロナ感染症も下火になり、規制を緩めましたが、12月頃から第三波が発生し、再び保護者の面会禁止、ボランティア受入の中止となりました。

園のスタッフはコロナに感染しないよう日々最大限の注意を払っています。が、いっどこで感染するか分からないことへの不安は大きなものがあります。

その中で、1月に園では福岡県の事業として「施設職員を対象とした唾液PCR検査」を受けました。その結果、2名の職員に「偽陽

性」の反応があり、再度精密検査を行いました。結果は「陰性」でしたが、その間念のために入所者の一部(56名)に対しPCR検査を行いました。いずれも「陰性」で、一同は胸をなでおろすことができました。その後も、3月に唾液PCR検査を受けましたが、いずれも「陰性」で安堵しました。

保護者の窓ガラス越し面会が再開された際、久しぶりに見る我が子に対し「あ、笑っている」と喜びの声が上がり、「コロナ禍の難しい時期に、このようにお話を頂きありがとうございます」とのお言葉を受け、我々職員も喜びと共に大きな励ましを受けています。

2021年度は医療従事者からコロナワクチン接種も始まりました。しかしながらコロナ感染症との闘いはまだまだ続きそうです。重症児者の方々は感染すると生命の危機に直面されます。我々職員は入所者、通園の方々の命を守りたいと日々祈り、業務に当たっていききたいと思っています。

(H・N)